

実体せん断試験報告書

試験試料 ハイタップ 6ミリ



2012年 11月 30日

下館工場 技術・品証課 技術係

1. 目的

ハイタップ M6 のせん断荷重に対する抵抗値を確認し、ファスニング設計の参考とする。

2. 試験項目

2-1. 静的せん断試験

3. 試料

3-1. SUSハイタップ SH-650Sを代表試料とする。



図1. 試料

4. 母材

4-1. 普通コンクリート 打設上面 圧縮強度：21 N/mm²（28日強度）

5. 使用機器

5-1. ロードセル	KCM-100KNA	(東京測器研究所)
5-2. 変位計	CDP-25	(東京測器研究所)
5-3. 油圧ジャッキ	EC12S7.5	(株式会社 大阪ジャッキ製作所)
5-4. インパクトドライバー	TD122D	(株式会社 マキタ)
5-5. ハンマードリル	SPIT335	(SPIT社製)
5-6. コンクリートドリル	SDS-plus 5.5	(ミヤナガ社製)

6. 試験方法

ハンマードリルでコンクリートに下穴を穿孔した。深さはコンクリートドリルへのマーキングで管理し、下穴の切粉を集塵機で取り除いた。

試料はそれぞれ以下の方法で、せん断治具を介して試料を打込み試験体を作製した。

今回、埋込深さを調整するためにナット類をスペーサ代わりに使用した。

図2に示すように油圧ジャッキ装置類をセットした後、アンカー軸に対し垂直方向へ荷重を載荷し測定を行う。

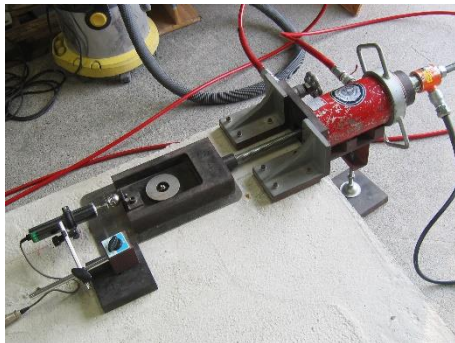


図2. 試験方法

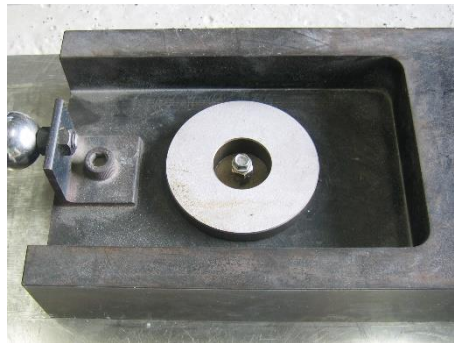


図3. 試験詳細

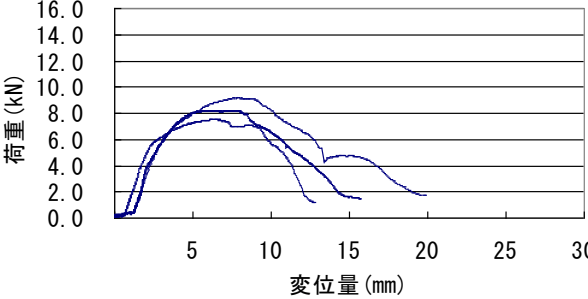


7. 試験結果 試験本数各3本

荷重単位：kN

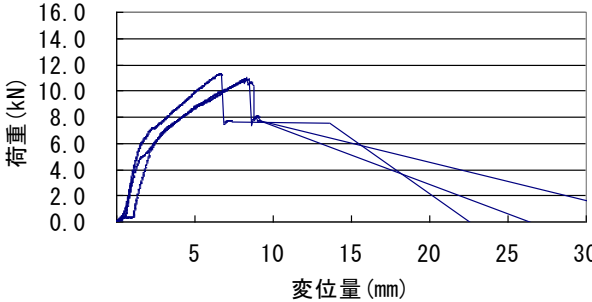

ドリル径	φ5.5	
埋込深さ	30mm	40mm
1	8.201	11.331
2	7.543	10.892
3	9.202	11.018
最大荷重平均	8.315	11.08
標準偏差	0.84	0.23
変動係数	10.0%	2.0%

8. 荷重変位曲線と破壊形態

8-1. 埋込深さ30mm

<p>SUSハイトップ SH-670S 平均せん断強度：8.315 kN</p>	<p>破壊形態：試料の曲がりと折れ</p>
	
<p>荷重変位曲線</p>	<p>試料の曲がり</p>
	
	<p>試料の折れ(試料 No3)</p>

8-2. 埋込深さ 40 mm

<p>SUSハイタップ SH-670S 平均せん断強度：11.080 kN</p>	<p>破壊形態：試料の破断</p>
	
<p>荷重変位曲線</p>	<p>試験後の試験体状態代表例</p>

【本書使用上の注意事項】

本書に記載のデータは全て実験値であり、保証値ではありません。

現場での母材の状態や施工精度を考慮し、十分な安全率を掛けた上でご使用ください。

以下余白